

野迫川村 北股地区 (奈良県)

●施工：熊谷組/錢高組

■ 被害状況

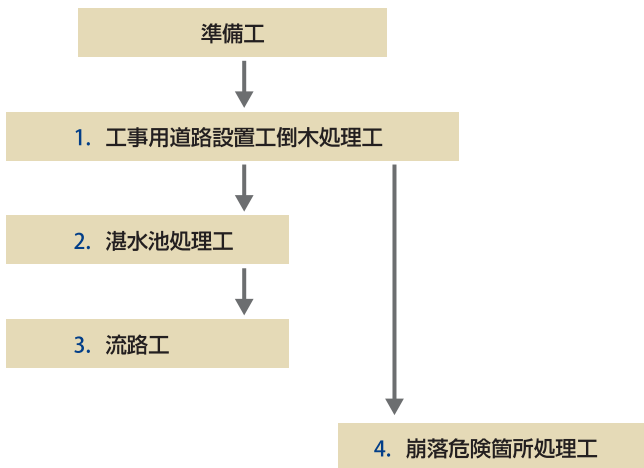
平成23年9月4日午前10時10分頃に、台風12号豪雨の末期(ほぼ降り止んでいる頃)に土石流が発生した。土石流の崩壊土量は、約120万m³。土石流により、人的被害は無かったものの8件の家屋が被害を受け、現在も37件世帯、87名の方が避難生活を送られている。

■ 工事概要

緊急工事は北股川の上流域は熊谷組が担当し、下流域は錢高組が担当。熊谷組は工事用道路や仮排水路の設置工事、崩壊個所の法面成形工事、砂防堰堤設置工事などを担当。一方錢高組は倒木処理や大型重機を搬入するための工事用道路、北股川を渡河する仮設栈橋設置のほか、応急対策として土石流出を防ぐ仮堰堤の築造や下流水路の整備を行う。

■ 工事の記録

◆上流工区(熊谷組)



現地の工事状況

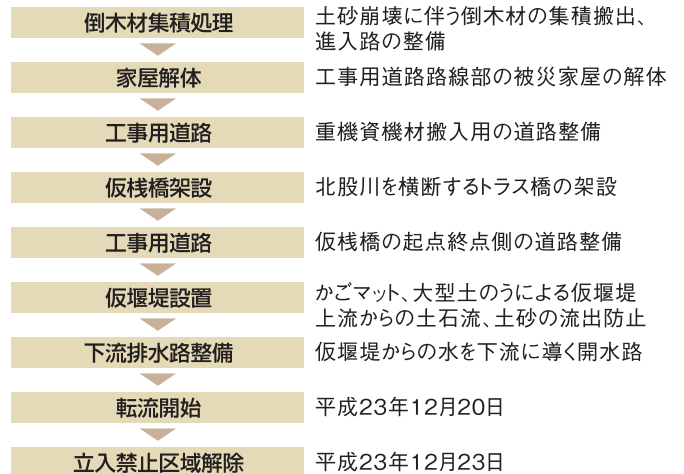


23.10.8



24.3.7

◆下流工区(錢高組)



倒木材集積状況 23.10.4 工事用道路整備 23.11.30 仮栈橋架設状況 23.11.21 仮堰堤設置 23.12.19

■ 現況について (3月1日現在)

◆熊谷組

平成23年10月より緊急対策工事を開始し湛水池処理工・流路工を完成し崩落危険箇所への進入のために倒木処理を行いながら、工事用道路を造成し、法面整形工事の準備を行っている。

◆今後の課題

◆熊谷組

崩落危険箇所処理工では一部無人化施工を導入するなど、今後も二次災害防止に細心の注意をはらって施工を継続する。

◆錢高組

平成23年12月20日の転流開始で、当社の担当の応急緊急対策工事は完了。現在は、恒久対策で検討されている砂防堰堤設置に伴い必要となる工事用道路の現況測量と計画を実施している。

◆錢高組

平成23年12月23日に災害対策基本法の警戒区域は解除されたが、依然として避難指示が出されており、北股地区の被災者は、仮設住宅暮らしを強いられている。お年寄りも多く、1日でも早く恒久対策工事を実施して、安心して我が家で生活できるように整備、復旧される事を望んでいる。